

北陸の観光業復興に向けた PR 活動を

団体名 ● SMC (Seiry Movie Creators) / 代表者名 ● 田中皐楓 (経済学部経済学科3年)

はじめに

今年度行った活動の背景として、2024年に発生した能登半島地震の影響によって北陸の観光業は大きな打撃を受けた。そのため昨年度自分たちが行ってきた活動である「動画 PR」やポスターデザインや SNS などの PR 活動といった経験を活かして北陸の観光業復興の一助となるような PR 活動を地域と連携して行っていきたいと考えたため、富山、石川、福井の北陸三県にスポットを当てた広報活動を行い北陸地方の観光地の認知拡大を目的に活動を行いました。

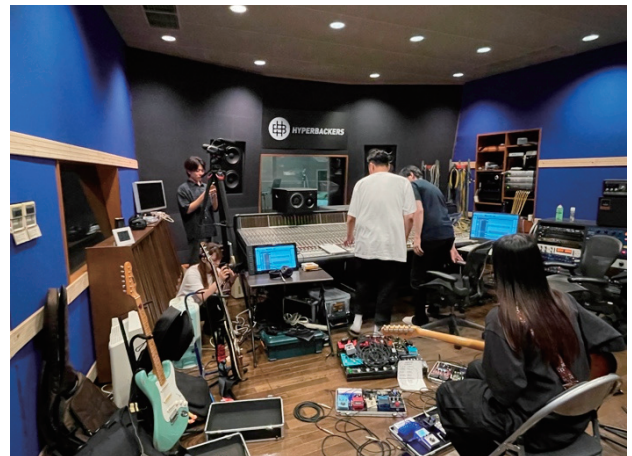
活動内容

今年度行った活動は「北陸地域の観光 PR 映像制作」、「学生向け企業紹介映像の制作」、「学歌のアレンジのメイキングムービーの制作」の3つあり、まず「北陸地域の観光 PR 映像の制作」では、今年度は富山、石川、福井の3県の PR 映像を作成するために撮影と編集を学生で行った。第一策として富山編の撮影では富山市ガラス美術館や雨晴海岸、チューリップフェアなどの全国的にも有名な富山の観光地を取材、撮影し、演出や画角、編集をこだわることで、富山県が持っている自然や文化の魅力を見ている人にも伝えられるような映像を作ることができました。

そして2つ目の「学生向け企業紹介映像の制作」では、辰島先生と共同で短大生向けの映像を作った。制

作の意図としては、短大生の資格勉強に対するモチベーションの向上や今勉強している資格や学校の勉強が将来企業に勤めた際にどのように活躍するのかを実際に企業で働いている卒業生や企業の人事に所属されている方にインタビューし、企業の方々が学生にどんな能力が求められているのか、取得資格はどのような風に活用されているのかなどとても有益な情報を答えていただいた。また、新年度が始まって初の映像制作であり、今年度から入った新入部員も今回の制作から参加してもらったため、初めての映像制作に戸惑っている場面もありましたが、頑張って撮影と編集を行いました。

そして最後に「学歌のアレンジのメイキングムービーの制作」では、辰巳先生から「学生にもっと学歌を知ってもらい、親しみを持ってもらいたい」とお話をいただき夏頃からメイキングムービーの制作を開始しました。SMC 以外にもさまざまな団体と共同で構成から考え、実際にレコーディングスタジオを訪れて撮影を行いました。学歌のアレンジを演奏や歌唱で制作に関わっていた学生の方々やスタッフの思いが映像を通して見ている人に伝わるよう編集や撮影を映像制作メンバー同士で話し合いながら、作り上げることができました。また、SMC 以外の団体との制作は初めてだったため、SMC 以外の人から見た別視点からの新しいアイデアを得ることができ、新鮮な経験をすることができました。



活動の成果

今年度は映像の再生回数やコンクールでの受賞などの成果を出すことはできなかったが、学生向けの映像制作や学歌のアレンジ映像など学内の教員や学生と共同で行なった活動を通して、見てくれた人や企業の方々からいただいた映像のコメントや意見を目にする機会が多く、自分たちが行っている映像の良い点や欠点といった客観的な意見をもらえたことで自分たちの制作してきた映像を改めて見直すきっかけとなりました。また、企業紹介映像のように将来を考えるきっかけとなるような映像では、「進路を考える参考となった」、「勉強に対するモチベーションが上がった」などの感想から学生の意識を高めるような映像を制作できたことも大きな成果の一つだと考えます。

今後の課題・展望

今年度は学内で多く活動ができた反面、当初の目的であった観光映像の制作が中途半端に終わるという結果になった。今後は今年度に制作ができなかった北陸地域の観光PR映像の制作を引き続き行うことと今年度のように学内のゼミや学生団体と協力して能登半島地震の復興ボランティアへの取材や県内企業の紹介映像の制作を通して地域の魅力発信に貢献していきたいです。